



ゆらがわ

舞鶴市立由良川小学校

学校だより 2学期最終号

〒624-0955 舞鶴市字丸田74番地

TEL : 0773 - 82 - 0013

令和4年12月23日発行

知らないことを聞ける人を増やすのが、財産を増やすこと

経営の神様と呼ばれた松下幸之助さんは、小学校卒だったそうです。今よりも学歴偏重の時代であったにもかかわらず、成功を収めたのは、「知らないことは、知っている人に聞けばいい」という柔軟で率直な人柄にあったそうです。松下さんには、たくさんの名言がありますが、その中で2つを紹介します。

一つ目は、「よく人の意見を聞く、これは経営者の第一条件です。私は学問のある他人が全部、私より良く見え、どんな話でも素直に耳を傾け、自分自身に吸収しようと努めました。」です。例えば、1時間の予定でインタビューがあった場合に、松下さんは「ほな最初の30分は私が話しましょ。残りの30分はあんたはんが何かおもしろい話を聞かせてください。」と言うのだそうです。そうすることで、有意義な話や貴重な情報を聞けることがあったようです。

二つ目は、「人には燃えることが重要だ。燃えるためには薪が必要である。薪は悩みである。悩みが人を成長させる。」です。何かしようとしても、上手くいかないことや失敗することはよくあります。日本では、どちらかといえば、失敗しないことがよいとされている文化があります。欧米では、失敗は当たり前でその中から成功のチャンスがあると考える傾向があります。例えば、ポストイットで成功したスリーエムですが、本当はもっと強力な接着剤の開発を研究していました。失敗作品のひとつでしかなかった中途半端なものを、チャンスと捉えて、使用方法を思いついたことで、「はがせる付箋」という今では当たり前の大ヒット商品につながったそうです。チャンスはただじっと待っている人には訪れずに、何かをやろうとする人に舞い降りてきます。

動物の中で唯一「火」を使うことができる我々人類にとって、最近キャンプがブームになっていますが、薪をくべて火を見ることは、ガスの火やIHの調理器では味わえない贅沢な気分になれます。

この2学期には、運動会での子どもたちの熱い気持ちの伝わる応援や集団演技を見ることができました。児童会本部は「由良川レンジャー」として、恥ずかしがらずに堂々とかっこよくみんなを引っ張る姿を見せてくれました。それに答えて、大きな声で挨拶してくれた子どもたちの様子が印象に残りました。

後期児童会スローガン「勉強も遊びも元気100% スマイル 由良川っ子」

楽しい冬休みを! ~家族の一員としての役割を~

W杯の様子を伝える映像からも分かるように世界的には新型コロナウイルスに関してはかなり意識が緩和されてきているように感じます。しかし、行動制限がない状況の中でこの年末年始では多くの人が集まることが予想されます。感染対策への意識を忘れずに心がけたいものです。

間もなく迎える年末と年始、今年一年をしっかりと振り返り、新しい年の目標を決めて3学期のよいスタートがきれたらと願っています。また、大掃除やお正月など、家族の一員としてお手伝いをしたり遊んだりして、家の中の温かさ、家族のぬくもりを感じてほしいと思います。一人一人が事故の無い有意義で楽しい冬休みになることを願っています。保護者・地域の皆様には、本年中、多くのご協力を賜りありがとうございました。令和5年も引き続き変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

校長 中江 浩二 教職員 一同